

大牟田市教育委員会 1 2 月 定例会

1. 開催日時

令和元年 1 2 月 2 3 日 (月) 1 5 時 5 7 分～1 6 時 4 3 分まで

2. 場 所

大牟田市教育委員会室

3. 出席者

安田教育長、山本委員、嶋田委員、東委員、笹井委員

4. 欠席委員

なし

5. 出席事務局職員

中村事務局長、平野総務課長、富安市民協働部調整監、大倉野生涯学習課長、黒田学務課給食担当課長、木下学務課主査、草村生涯学習課主査

6. 傍聴人

0 名

7. 会議

1 5 時 5 7 分、教育長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認及び変更の確認を行った。非公開の発議はなく全案件を公開と決定された。

(報告事項)

1 学校給食週間の実施について【学務課】

教育長 学校給食週間の実施についてお願いします。
給食担当課長 学校給食週間の実施について説明します。

教育長 何か質問はありませんか。
委 員 2 点、質問をお願いします。
まず、2 ページの学校給食レシピコンテストでは、費用面を考え学校給食レシピを子ども達からどのように応募をしてもらっているのか、お聞きします。

次に、以前、保護者からメニューを募集するコンテストがあった気がしますが、それは、今はあっていないのかの 2 点を教えてください。

学務課主査 まず、応募の方法ですけれども、B 4 の半分の用紙である B 5 版で献立メニューと料理の写真かイラストを描いていただいて、4 人分の材料と分量と作り方を書いていただいています。共同作品ということで、誰と一緒に考えたのかを書いていただく欄もございます。

材料費につきましては、募集要項に 2 0 0 円ぐらいと表記していたと思います。

次に、中学校給食センターでのコンテストにつきましては、市制100周年記念事業として、地場産青果物を使った学校給食レシピコンテストを実施しました。その時は、子ども達に考えていただいた作品を実際に給食センターで作って、それを試食して再現したという事業を行いました。100周年記念事業ということから、当該年度で終了し、それ以降は書類審査だけを行っております。

委員 とても楽しい事業だったもので、残念です。ありがとうございました。
委員 200円とは、1人200円ですか、それとも4人で200円ですか。
学務課主査 1人200円ぐらいの料理です。
また、募集したのは、1品料理を200円程度で出来る料理ということになります。
教育長 他に質問はありませんか。
無いようでしたらご理解いただいたものと考えてよろしいですか。

(承諾する旨の声あり)

(協議事項)

1 大牟田市子ども読書推進計画（素案）について【生涯学習課】

教育長 大牟田市子ども読書推進計画（素案）についてお願いします。
生涯学習課長 大牟田市子ども読書推進計画（素案）について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明及び報告)

- ・大牟田市子ども読書推進計画（素案）に沿って、資料に基づきポイントについて説明

教育長 何か質問はありませんか。
委員 2点お尋ねしたいと思います。
先程ご説明いただいた、7ページと8ページでお尋ねします。
7ページに、「●1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。」とありますが、図書館には、偉人の伝記など漫画タイプのもも読まれていると思いますが、そういうものも含めて、本という考え方でこのアンケートは行われたのかについてまずお聞きします。
もう1点は、8ページに、「●スマートフォンやタブレットを使って本を読むことがありますか。」という問いですが、スマートフォンやタブレットも本だと考えるならば、これは、「●1ヶ月これは1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。」にも含むと考えるのか、また、その部分をどのように取り扱うのかをお願いします。
生涯学習課長 漫画、雑誌、教科書は除くという聞き方での回答をしていただいております。

ます。

委員

漫画というのが、普通に書店に売っている漫画ではなくて、図書館に置いているもののうち、漫画で表されているものです。

図書館にあるものについても含まれるのであれば、もしかしたらもう少し本を読んでいる旨の回答が増えるのではないかと思います。

教育長

いわゆる学習漫画のことですが、図書館等に置いている学習漫画も本を読んでいるという回答に入るのかということについては、検討されましたか。

生涯学習課長

今回の調査に当たっては、漫画、雑誌、教科書、新聞は含みませんとさせていただきます。

今、委員ご意見の学習漫画や歴史を学ぶ漫画は、数多くございますので、それを読書に含むのかどうかというのは、また別に定義付けする必要があると思っております。

今回の調査では、細かくすることができなかつたので、漫画、雑誌等は除くということにさせていただきました。

しかし、最近話題となっていたOECDの読書と学力の調査にもありましたが、フィクションや漫画等が読んでいる子ども達の読解力に良くない影響を与えるとかそういうものとは捉えていません。

委員

今は、学習漫画というものが、図書館に置いてありますし、そういうものを手に取ることも、子ども達にとっては、読書という考え方になるのかなと思います。今後、この計画がこれから5年間進めていくに当たって、そういうものの取り扱いも考えていただきたいと思います。

それから、8ページでは、スマートフォンやタブレットで読むことも本を読むことだと子ども達が思うのであれば、上の表では、「ひと月に1冊も本を読まない」となっているけれども、スマートフォンやタブレットでは本を読んでいるということになると思います。

生涯学習課長

電子書籍も読書の一部だと思っております。

今回調査をするときは、特にそのあたりの区別をつけておりません。

「何冊くらい読みますか」ということでお尋ねしているので、タブレットで読む本も含めて考えている子どももいれば、そうでないと考えている子どももいるかもしれません。

そこについては、人によって捉え方が違うかもしれません。

委員

今回のアンケート結果を読ませていただいたときに、スマートフォンやタブレットも本であるとアンケートに出ているということは、5年後には、もっと進んでいると思いますので、これを一冊と捉えるようになるのかどうか、私達も考えなければならないと思います。

委員

スマートフォンとタブレットは、同じものとして考えていいのでしょうか。

生涯学習課長

同じと理解しています。

教育長

私は、今のご意見は大事なことだと思っています。

不読の問題もありますが、子ども達が今、アナログからデジタルに変わってきていて、子ども達の生活の中にも電子書籍というものもありますし、それから紙ベースの本をじっくりと読まないとする、今後は、学習漫画も読書の一部であるという概念も出てくると思います。

それから、電子書籍についても、一冊の作品として考えていくなれば、まぎれもなくそれは読んでおり、それも読書であるというようなことの整理も今後はしなければならぬと思います。

したがって、今後のアンケートの取り方については、変えていかなければならぬと思います。

それとアンケートの有意性の問題が、気になるところです。

学校数が、3校との説明があったので、3校でもっての調査結果であるとは気になるところです。

委員

保護者の方は、本を選ぶ際に悩むかもしれないので、今後の取り組みの中では、小・中各学年やブックスタートでお薦めの本をお知らせいただいたり、「こういう本がお薦め」など、広報おおむたや学校関係の学校だよりも、本のお薦めを紹介したりしてはどうでしょうか。

委員

4ページの「POP」の意味と、「小学生読書リーダー」と「中学生読書サポーター」の内容の違い、それから、17ページの下から5行目「名応力」についてお尋ねします。

生涯学習課長

4ページのPOPにつきましては、ポップと読みますが、お薦めの本をハガキくらいの紙で、タイトルとお薦めポイントを書いた、本屋さんでは「お薦めの本」、「今話題の本」といったお知らせの物になります。

それから、同じページの「小学生読書リーダー」と「中学生読書サポーター」の違いですけれども、「小学生読書リーダー」につきましては、どちらかという小学生がリーダーとなって、自分達から同じ学年の子や下級生に対して、どんどん本を読む楽しさとかとかすばらしさとかを広めていってくださいという意味でリーダー養成という名前を付けさせていただきました。

中学生では、自分達が下級生に対して薦めるというよりも、友達同士で「この本良かったよ」ということで、読書が広がっていく傾向や統計がありますので、一緒に読書を広めていこうとの意味合いで、サポーターとしました。

養成講座の内容につきましては、読書のすばらしさを学ぶ講座ですとか、図書館での仕事の内容の学び、あとポップの作り方などをさせていただきました。

中学生で特徴的なものは、ビブリオバトルと言いまして、自分がお薦めしたい本を5分間で紹介し、この本はこういうすばらしいところがあるということ、みんなに薦めるプレゼンテーションに挑戦してもらいました。

- 生涯学習課主査 17ページの「(3)学校等での取組み」のご指摘の部分につきましては、申し訳ございませんが、誤字でして「能力」でございました。
- 委員 7ページの「●本を読むことが好きですか。」の結果を見て驚きました。小学校の低学年から中学生になるにつれて、「なんとなく好き」が増えていくのかと思いましたが、「どちらかといえば嫌い」が増えているのは、全国的な傾向ですか。
- 調査結果には、平成25年度と令和元年度の表記しかありませんが、平成25年度の小学2年生と令和元年度の児童・生徒は、6年後にあたり、同じ生徒になるかと思いますが、「好き・なんとなく好き」の平成25年度92.1%から令和元年度「好き・どちらかといえば好き」71.3%と減っています、なぜ減っているのか分析して、発展に関して計画を立てていかないといけないと思います。
- 平成25年から令和元年まで取組みを行っていますが、その結果がこれだということ踏まえて、打ち出していかないと前回と同じようなことで類似させようとして大丈夫なのかと思います。
- 生涯学習課長 「どうして嫌いですか。」ということ今回は調査しておりませんので、理由はつかめませんが、平成25年の調査の際、読まない理由を尋ねております。
- 「嫌いかどうか」ではありませんので、少しずれるかもしれませんが、「中学生は時間がない」、「他にやりたいことがある」という回答が多くありました。
- その次は、「パソコンが楽しい」とか、「読むのが嫌」というような回答がありました。
- 改訂版を作成するに当たっての検討会やワーキングのご意見では、「絵本から児童書に移るときに躓く子が多い。」というようなことを伺いました。絵本は、見ても楽しいですし、いろいろな想像力が働きますが、そこから、「じゃあ、読めるようになったのだから、自分で読みなさい。」ということで、児童書に移行するときに躓くということでした。
- そういったことも、少し原因があるのかなと感じたところでございます。
- また、中学生や高校生が、読書をするきっかけにつきましては、友達同士で、「この本面白かったよ」と紹介してもらったり、映画化やメディアで話題になったりすることで、読書をするきっかけになるということですので、そのきっかけ作りも中学生にしていけたら、少しは改善するのではないかと考えております。
- 委員 全国的な傾向は、分からないかもしれませんが、そういった傾向にあるのでしょうか。
- 委員 小学校は、時間があったら図書室に行くとか、一日一回は図書室に行きましようというようなシステムができています。中学校は、單元ごとに授業が変わるので、担任の先生が図書館に促す時間が無くなっているからで

はないかと思います。小学校は、クラス単位で図書館へ行ったり、子ども達も100冊読むぞというような目標を作ったりするので、小学生は図書室に行く機会がありますが、中学生は、図書室に行く機会が減っているのではないかと思います。

委員 選択肢は、「好き」か「嫌い」のどちらかですか。

生涯学習課長 選択肢は、「好き」、「どちらかといえば好き」、「嫌い」、「どちらかといえば嫌い」の4段階になっております。

委員 だとすれば、好きか嫌いかになってしまいますので、本当は読みたいけれども、時間がなくて読めないといったところが、「嫌い」になってしまうのではないかと思います。

生涯学習課長 選択肢については、「どちらでもない」を入れてしまうと、中心に回答が寄ってしまいますので、どちらかを選択していただくような4段階としています。

教育長 アンケートでは、4段階の選択肢と本を読まない理由についての自由記述を設けるとなぜかというのが分かるのではないですか。

選択肢が4段階だけだと、右か左になってしまうので、より細かく分析できるように、アンケートの採り方も考えなければならないと思います。

生涯学習課長 なぜ嫌いかという理由は、後からですけれども、記述式で採る必要はあったのかなと思いました。

委員 2点、3ページと4ページをお願いします。

まず、3ページの(1)の課題の①の一番下ですが、「講座の開催方法など参加しやすくなる工夫が必要です。」という表現です。その他の表現は、「必要があります。」という表現になっていますので、これも「工夫をする必要があります。」などと表現を揃えた方がいいのではということが1点。

もう一つが4ページに(2)②課題の中で「ワーキング部会を年1回程度開催しました。」とありますが、大牟田市子ども読書推進委員会のワーキング部会が年1回ならば、推進委員会自体は年何回実施されているのかと疑問に思います。

生涯学習課長 ご意見ありがとうございます。

教育長 この計画は、5年間という長いものとなっていますが、次の改訂はいつですか。

生涯学習課長 5年間は、この計画でいきたいと思います。

教育長 私の意見としては、これだけ社会のスピードが速いので、ますますデジタル化していくことは間違いないと思います。

5年となると、今以上にデジタル化が進むと思うので、子ども達の傾向もデジタル化に移っていく気がします。

ですから、5年といわずにとは思いますが、そこは、今後様子を見ていただきたいと思います。

教育長

他に質問はありませんか。
無いようでしたらご理解いただいたものと考えてよろしいですか。

(承諾する旨の声あり)

教育長

他にご意見、ご質問はありませんか。
無いようでしたら、以上で12月定例会を終わります。

令和元年12月23日(月)

閉会 16時43分